

令和7（2025）年度第3回県西地域医療構想調整会議並びに
県西構想区域病院及び有床診療所会議 合同会議 結果報告書

- 1 日 時 令和8（2026）年3月13日（金）19時00分から20時40分
- 2 場 所 上都賀庁舎5階大会議室とWEBのハイブリッド
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 議 題（第1回に引き続き上都賀郡市医師会会長の久保委員が議長）

（1）**現行の地域医療構想の評価について【資料1】**

県西健康福祉センターから資料に基づき説明。各機関における取組については出席委員及びその他出席者から説明いただいた。質疑等は以下のとおり。

〈上都賀郡市医師会副会長 伊藤委員〉

- ・P4の左側の「高度急性期・急性期」の二つ目の項目で、2025年の必要病床数を上回っているという表記があるが、表でいうとどの部分になるのか？

⇒（事務局）今回表で示した数字は、左側の表記に係る数字ではない。

評価で使用した表の数字は医療需要と入院実績であり、いずれも病床数ではなく一日あたりの入院患者数である。

〈御殿山病院 小野委員〉

- ・P3の医療従事者数について、救急医療を担う医療機関の医師・看護師が増えているのかどうか、その内訳は把握しているか？

⇒（事務局）病院・診療所の別は把握しているが、従事している診療内容までは把握していない。

〈日光市薬剤師会 長谷川委員〉

- ・県西地区においては鹿沼・日光部会を設置し、地域ごとの協議が持たれていることは良い取組である。

〈上都賀郡市医師会会長 久保議長〉

- ・P11のまとめで、「医療需要に応じた病床の集約が進んだ」という表記があるが、入院実態に則して削減されたというよりも、医療機関側の事情で削減したという意味合いが強いと考える。表記としては、「集約が進んだが、一部実態に合っていないという問題点もあった」というような表記が正しい。

（2）**県西構想区域グランドデザインの策定について【資料2】**

県西健康福祉センターから、グランドデザイン最終案について資料に基づき説明。

〈上都賀郡市医師会会長 久保議長〉

- ・今年一年かけて協議してきたものであるが、修正等あるか？特になければこの内容で確定とする。後日、意見が出た際は事務局一任として扱う。

⇒参加者から意見なし

- ・議題1の評価及び議題2のグランドデザインについては、県調整会議に報告し共有することとなっているので御承知おき願いたい。

(3) 新たな地域医療構想の策定に向けた国検討会の協議状況について【資料3】

県西健康福祉センターから資料に基づき説明。

〈全国健康保険協会栃木支部 高田委員〉

- ・国検討会において、委員からは地域住民の合意形成が重要という意見が出されていた。県西地区の調整会議の構成員にも住民の立場から参画されているが、医療構想について地域住民に十分に認知されていないと感じる。構成員により住民サイドの参画を求めることも必要。また、住民への周知方法としてメディアの活用も必要ではないか。

〈鹿沼歯科医師会 鈴木委員〉

- ・P9 に点検のために必要なデータとして医療従事者の状況が追加されたと思うが、歯科衛生士についても追加してほしい。

(4) 外来医療計画に基づく取組状況について【資料4-1、資料4-2】

- ・県西健康福祉センターから資料4-1に基づき説明。今回、獨協日光医療センターから紹介受診重点医療機関の意向が出されているため、本調整会議で協議させていただく。
- ・獨協日光医療センター 安統括管理者から資料4-2に基づき説明。

〈栃木県老人保健施設協会 矢尾板委員〉

- ・診療している患者を獨協日光医療センターに送る際には、紹介状が必須となるのか？救急受診の際にはこれまでと何か変わる事があるのか？

⇒ (獨協日光医療センター 安統括管理者)

紹介状がある方が望ましいが、一般病床200床未満の地域医療支援病院であるため、紹介状なしで受診しても患者から追加徴収は発生しないため、紹介状は必須ではない。現状の対応と変わらない。

〈地域医療構想アドバイザー 小沼会長〉

- ・追加情報として、紹介受診重点医療機関から診療所等に逆紹介する場合は、かかりつけ医に60点の加算が可能となる。

〈上都賀郡市医師会長 大久保議長〉

- ・反対意見は無いようなので、獨協日光医療センターを紹介受診重点医療機関として承認する。

(5) かかりつけ医機能報告制度について【資料5】

- ・医療政策課から資料に基づき説明。県の対応として、4月以降に県HPに公表、7月の地域医療構想調整会議で集計結果を報告、12月の調整会議で各地域の課題・対応策の検討、12月以降に結果を県HPに公表する。協議の場については当面は調整会議を活用するが、方向性が決まり次第、適切な会議体・参加者の選定を行っていく。

(質疑等なし)

(6) その他

- ・ 県西健康福祉センターから【参考資料1】について情報提供。質疑等なし。

(7) 会議全体を通してのコメント

〈地域医療構想アドバイザー 小沼会長〉

- ・ 県西は県北地域と同様に、医療資源の乏しい地域である。今ある資源、人材で力を合わせて何とか頑張っていっていただきたい。

〈上都賀郡市医師会副会長 伊藤委員〉

- ・ 10年前と比較し、人口減少や医療資源、医療従事者の状況など見てなるほどなど感じた。病床削減が実態に即してうまく進んでいるのかは疑問。人口動態も見ながら必要病床数等を会議の場で議論しながら考えていけるとよい。
- ・ 医師が増えているとはいっても、実働状況が伴っているかは疑問。訪問看護ステーションも増えているが、現場からは疲弊しているとの声も聞く。
- ・ 国のガイドライン案も示されたが、ACPの観点が不足しているように感じる。普及啓発をもっとやっていく必要がある。
- ・ 地域部会を通じて、現場の関係者と顔を合わせて話ができただことはよかった。

〈上都賀郡市医師会長 大久保議長〉

- ・ 県内でも広域な地域であり、部会で地域ごとの協議ができたことはよかった。
- ・ 一年かけて作成してきたランドデザインも充実したものができた。
- ・ 委員の協力のおかげで会議の進行もうまく進んだ。改めて御礼申し上げる。